

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒 371-0123 前橋市高花台 1-6-5 (佐藤光由方) tel027-269-1143 E-mail : info@gunmaken-sangakurenmei.net



谷川の山並みに響き渡る三国太鼓

top News

谷川岳山開き 夏山シーズン開幕告げる太鼓の響き

7 月 5 日（第 1 日曜日）、恒例の谷川岳山開きがみなかみ町湯檜曾の谷川岳インフォメーションセンター前を主会場に開かれた。300 人以上の乗客を乗せ未明 3 時過ぎに土合駅に 300 人を超える乗客を乗せて「谷川岳山開き号」が到着。土合駅から谷川岳ヨッホ（ロープウェイ）へと続く道路には岳連、労山、日本山岳会の県内山岳 3 団体によるかがり火の列が灯り、土合駅に降り立った大勢の登山者や観光客を出迎えた。

山開きの神事は午前 4 時からセンター前で開かれた。600 人近い来賓と一般登山者らが見守る中、山開きを

告げる三国太鼓の勇壮な響きが谷川の山並みにこだまし、今年の夏山シーズンの開幕を告げた。神職による安全登山祈願の後は、登り初めの儀式が行われ、行政、警察、地元、山岳などの関係者、そして一般登山者らが土合霊園地に設けられた茅の輪をくぐって安全登山を願った。

センター前では豚汁のふるまいやおにぎりの販売なども行われ、山頂でのイベントや谷川岳ヨッホの早朝運行など盛りだくさんのプログラムが谷川岳の夏山開きをいろどった。

令和 8 年度定期総会を終えて 両輪をバランスよく回し前へ



一般社団法人群馬県山岳・スポーツクライミング連盟 会長 吉田 直人

令和 8 年度定期総会は 6 月 6 日前橋市総合福祉会館において開催され審議の結果全ての議案が原案どおり承認されました。その後恒例の懇親会では日頃あまり顔を合わせない正会員や参与会員の方の参加もあり山の話や情報交換の場として大いに盛り上げる有意義な会となりました。

さて、「群馬岳連は山岳と SC（スポーツクライミング）の両輪をバランスよく回し前へ進める」と年頭の挨拶でも書きました。それを実現させるためには理事をはじめ岳連会員の更なる力強い支援が必要です。以下今年度の取組みを年頭の挨拶と若干重複しますが述べてみます。

山岳について

昨年、岳連内で 2 件の遭難事故が発生し理事 1 名を含む 2 名の仲間を山で亡くす本当に残念な事故

が発生しました。いままで群馬岳連は登山者に対し遭難対策や安全登山の啓発活動を実施しこれからもその活動は変わることはありません。この様な啓発をしている側としては常に安全登山を意識した登山計画を立て実践することが求められます。登山中いかにリスク回避するか今回の事故は自分ごとと受け止め事故は絶対起こさないという強い気持ちで臨んでほしい。

とは言え山登りはまさかのことが発生します。まさかの際リーダーがどう行動するか、その行為が重要になります。今回 2 件目の事故でリーダーとしての責任（義務）と役割、リーダーとしてのあるべき姿もクローズアップされました。このことを踏まえ今年度は指導委員会、遭難対策委員会を中心に岳連会員のための講習会をぜひ開催してもらいたいと思います。



トレッキングや登山の国内・海外旅行保険はもちろん、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険などを取り扱っております。メールや電話、Zoom 等でもご契約頂けるので、千葉県船橋市の保険代理店ではございますが、ご用命頂けると幸いです。

東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)代理店

(株) And-Arc

〒273-0012 千葉県船橋市浜町 2-1-1 ららぽーと三井ビルディング 7F
TEL:047-489-1661/FAX:047-489-1667

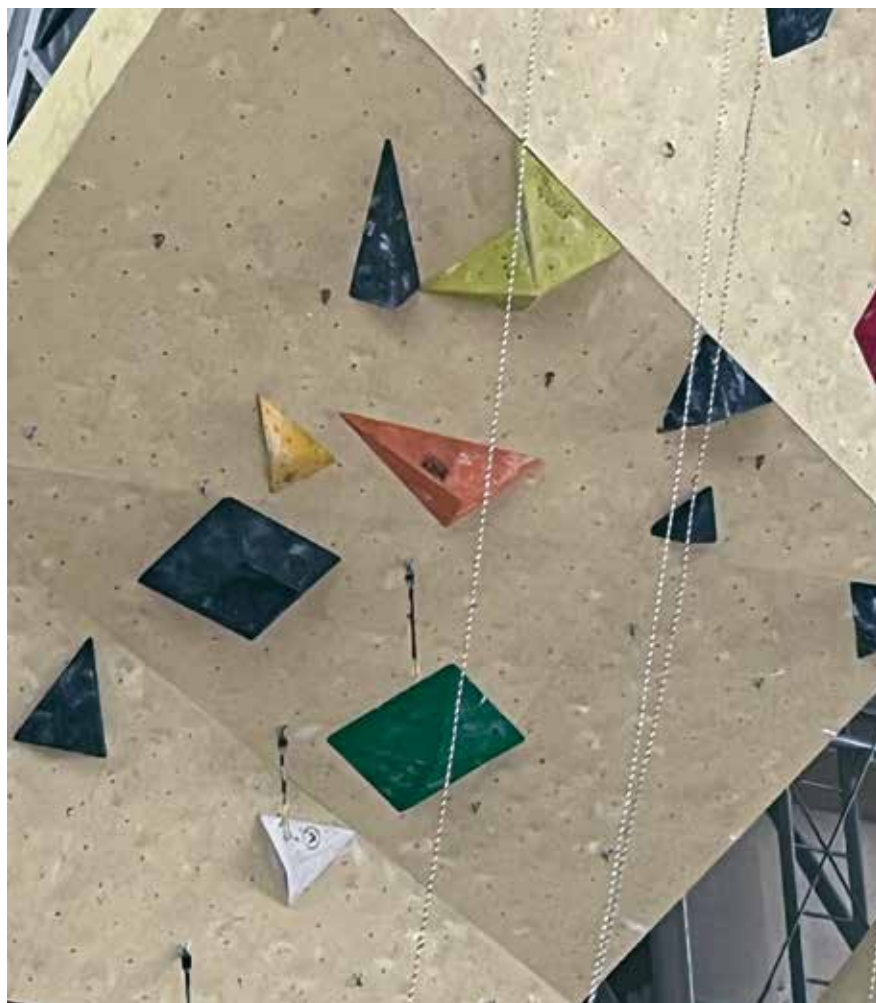
スポーツクライミング について

2029 年本県開催の湯けむり国スポまであと 3 年余りとなり準備も次のフェーズに入りました。

毎月理事会前に実施している会議も湯けむり国スポ準備委員会に名称を変え、高体連の先生方をメンバーに加え本番に向けての課題をひとつひとつ潰しています。リード競技における 2 ルート、4 ルート問題は群馬県の一貫した揺るぎない方針で 2 ルートでの実施になる公算がきわめて強く、われわれとしてはそれに従い支障なく競技できる仕組みを JMSCA と作っていくことが肝要となります。

今年の国スポは青森県で開催され、後催県であることから群馬県より視察員として群馬岳連から 3 名の派遣枠をもらい運営面や施設など視察してまいります。

群馬岳連は群馬県スポーツ協会に



所属する競技団体のひとつであり地元開催の国スポで優秀な成績を取るための選手育成も大きな課題です。競技委員会の尽力もあり、スーパーキッズ出身で全国レベルの選手が 2 名育ってきました。湯けむり国スポでの活躍を期待し群馬岳連としてできる限りのサポートをしていくのは

当然です。3 年後に向け山岳と SC 協働し徐々に群馬岳連の総合力を高めていければと思っています。

もう一つ、全体として今年度群馬岳連創立 85 周年を記念するイベントを開催します。具体的なことはこれからになりますが皆さまと共に 85 周年を祝いましょう。

アルファ化米
乾燥米飯



nozomi foods Co., Ltd.
あなたの安心を支えるWel-heart
<https://www.nozomi-f.jp>

QRコード
WEB



2026年度 チャレンジキッズプロジェクト

赤城 鈴ヶ岳登山報告

5月30日（土）新坂平から鈴ヶ岳への登山を行いました。参加者は子ども7名、大人5名、計12名でした。初めに、赤城山の出来方、植物などの解説があり、地図とコンパスを使って歩くコースを確認しました。9時出発。歩き始めるとすぐに、エゾハルゼミの鳴き声がかかります。ひとりが標識に付いたセミの抜け殻を見つけると、他の子たちも次々に見つけ、手のひらいっぱい集めた子もいました。鍬柄山では、360度の展望で、浅間山から白根山、武尊山など、山の解説には大人たちも耳を傾けていました。鍬柄山の下りは、細く急で岩場もあるため、子どもたちは、ハーネスを付けスタッフが設置したロープにセルフビレイのカラビナをかけて慎重にくだりました。

大ダオまで下り、いよいよ鈴ヶ岳の登りです。ここも2か所、岩場があり安全確保のためロープを使用しましたが、中にはスイスイと登る子もいました。予定通り12時山頂到着。木陰で昼食をとりました。帰りは同じコースです。大ダオで、休んでいると木登りを楽しむ子もいました。行きと同じ岩場では、カラビナをかけるのも慣れてきたようでした。鍬柄山で、最後の休憩を取り、景色を楽しみ15時、新坂平へ戻りました。レンゲツツジやヤマツツジなどの花も沢山見られ、エゾハルゼミやホトトギス、などの鳴き声を聞き、自然を満喫しました。天候に恵まれたことが幸いし、充実した登山となりました。

（記 佐藤 緑）



岩場を登る



安全に登る



鈴ヶ岳頂上



鍬柄山から大沼と黒檜山

谷川岳一ノ倉沢～花と雪渓・大岩壁を楽しむ～

自然保護委員会 天津祐子

令和 8 年 6 月 14 日（日）、自然観察登山を実施しました。当初は、一ノ倉沢出合から雪渓を歩く計画でしたが、雪が少なく安全に歩ける状況ではなかったため、コースを一部変更して実施しました。

【当日の概要】

- ・参加者 41 名、自然保護委員 11 名およびアドバイザー 1 名、総勢 53 名（4 班編成）で実施。
- ・谷川岳インフォメーションセンター集合・8:30 発 → 新道を進み巡視小屋 → 旧道へ上がり
幽ノ沢 → 一ノ倉沢出合（昼休憩）→ 集合場所 14:30 着・諸連絡後に解散

〈新道を歩いて巡視小屋まで〉

新道は、湯檜曾川を右手に見ながら緩やかに上がっていく登山道で、沢の渡渉が 4 箇所あります。周辺には、ブナやミズナラ、トチノキ、サワグルミなどの大木が多く、それらの解説をしながら歩きました。また、見頃を迎えたツルアジサイやミズキの花、ブナやヤマグワの実など、多くの植物を観察しました。途中、木の枝にモリアオガエルの白い卵塊があり、さらにその下の水たまりにモリアオガエル（成体と幼体）がいて、参加者から歓声が上がっていました。巡視小屋・虹芝寮前の広場で長めの休憩を取り、水分と栄養を補給しました。



動植物の観察をしながら

〈旧道を歩く〉

標高差約 100 m をゆっくり登って旧道へ出てからは、エゾハルゼミの鳴き声が響く中、湧き水“ブナのしずく”や、旧国道を偲ばせる古い石垣、白毛門・笠ヶ岳の眺め、ブナの美しい森を楽しみながら歩きました。そして一ノ倉沢出合では絶景を眺めながら昼食をとり、集合写真を撮った後に一ノ倉沢の岩壁を解説、その後も、風穴“氷河のといき”、まむし岩、目についた植物などについて説明しながら集合場所へと戻りました。最後に、谷川富士浅間神社と谷川温泉に伝わるいわれを紙芝居で紹介し、解散しました。

恵まれた天候のもと、参加者の皆様のご協力を得て充実した自然観察登山となりました。



一ノ倉沢を見上げて岩壁の解説

【注意事項】

〇一ノ倉沢出合からの雪渓について

本企画に当たり関係先と連絡をとって準備を進めてきましたが、異常な少雪のため、雪渓歩行は中止せざるを得ませんでした。一ノ倉沢出合から先は、谷川岳遭難防止条例の理解と十分な知識・技術が不可欠です。安易な立ち入りは、一般観光客を誘い込む危険があるため控えてください。

〇新道について

4 箇所の渡渉があります。融雪や雨などで沢が増水している時には適しません。また、登山者が少なく葉が茂る季節はやや見通しの悪いルートです。クマ鈴などの対策をして入山してください。

群馬の山

22

谷川岳 天神尾根コース

難易度 B 体力度 2

ロープウェイ（谷川岳ヨッホ）天神平駅⇨
〈0:50〉熊穴沢避難小屋⇨〈1:30〉谷川岳（トマの耳）⇨〈1:00〉熊穴沢避難小屋⇨ロープ
ウェイ（谷川岳ヨッホ）天神平駅



天神峠から望む天神尾根と谷川岳トマの耳

谷川岳は標高 2000 m に満たないが、その急峻さと雄大な展望で日本アルプス並みの登山を楽しめる「近くてよい山」である。雪解けを待って高山植物が咲き始め、隠れた花の名山でもある。本コースはロープウェイを利用して天神平から山頂に至る最短コースで、家族連れも多い一般向けコースである。天神平からリフトを乗り継ぎ、天神峠からも歩ける。傾いて滑りやすい木道やガレ場、岩場ではクサリやロープがあり、気を付けて歩きたい。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース

群馬の山歩き ベストガイド

安心して歩ける 126 コース



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 記集

国立赤城青少年交流の家を利用する小中学校のいわゆる「林間学校」の学校登山で、子どもたちと赤城を歩いている。山が身近にある群馬県内の子どもたちと違って、東京や関東南部の子どもたちは山の一つ一つのことここちらがビックリするほど驚いてくれる。霧の中を歩くことも、エゾハルゼミの鳴き声も初めてという子どもがほとんど。地蔵や長七郎の頂上から見下ろす高度感にも感動してくれる。子どもたちは勉強もタブレットで遊びもゲームばかりと思われがちだが、それは大人にこそ問題があるのではないだろうか、もっともっと自然に連れ出すことが絶対に必要だ。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026